

# 2015 年度 研究センター事業報告書

研究センター名	코리아研究センター
研究センター長名	勝村 誠

## I. 研究成果の概要

本欄には、研究センターの実施した研究の成果について、その具体的内容、意義、重要性等を、項目立てなどをおこないただけるだけわかりやすく記述してください。

### 1. 学術研究事業:プロジェクト事業(国際シンポジウム、月例研究会等)

#### (1)国際シンポジウム

- ①「解放/敗戦後 70 年の朝鮮半島と日本」(8 月 1 日)
- ②2015 統一人文学世界フォーラム学術会議「伝統文化に対する現代的照明と民族の和合」(9 月 12、13 日)
- ③治安維持法制定 90 年国際シンポジウム「治安維持法制定から 90 年、植民地朝鮮・戦前日本から現代を問う」(10 月 11 日)
- ④ワンコリア・フェスティバル「解放 70 周年記念シンポジウム」(10 月 31 日)
- ⑤国際学術会議「安重根『東洋平和論』と日韓歴史認識の国境越え」(11 月 7 日)
- ⑥立命館大学 코리아 研究センター設立 10 周年記念国際シンポジウム「東アジアと朝鮮半島の平和実現に向けて」(12 月 12 日)
- ⑦「東アジアの中の北朝鮮」(12 月 19 日)
- ⑧「韓国歴史地理学に学ぶ人文学のルネサンス」(2 月 11 日)

#### (2) RiCKs 月例研究会及び特別研究会

- ①第 71 回: 裴貴得「1930 年代朝鮮キリスト教の満州伝道における一考察—1910 年代と 1930 年代における西欧宣教師からの独立問題を中心に—」
- ②第 72 回: 李洙任「日本の移民政策に連動する帰化制度のあり方」
- ③第 73 回: 金晶珉「言論仲裁制度から見る韓国社会と言論」
- ④RiCKs・立命館大学国際地域研究所 北朝鮮問題研究会特別研究会: 李信澈「北朝鮮の“植民清算”認識と対日過去戦略」
- ⑤第 74 回(特別編) RiCKs・立命館大学アート・リサーチセンター「日本文化デジタル・ヒューマニティーズ拠点 研究拠点形成支援プログラム」  
シンポジウム「発掘された植民地期朝鮮映画『授業料』(1940 年)とその時代」
- ⑥第 75 回: 岡崎滋樹「近代日本の植民地認識—台湾から見た朝鮮—」
- ⑦第 76 回: 申光栄「韓国の複合危機に関する社会学的分析」
- ⑧RiCKs・ハンギョレ経済社会研究院共同研究会「韓国型社会的経済政策モデルの開発」

#### (3) その他:

- ①文化イベント:「タヨングム: コリア伝統音楽のレクチャー&コンサート」(11 月 11 日)
- ②RiCKs・立命館大学国際平和ミュージアム 講演会「人権と平和のために—ノグンリ虐殺の真相を究明する活動—」(11 月 23 日)
- ③RiCKs・一般財団法人ワンアジア財団 講演会「独立運動から韓国の国定歴史教科書を考える」(11 月 27 日)
- ④RiCKs・戦後 70 年映画「エイジアン・ブルー浮島サコン」を見る会 立命館大学「不戦の集い」関連企画  
戦後 70 年「エイジアン・ブルー」浮島丸サコン特別上映会(12 月 6 日)

### 2. 研究成果発信事業と新たな MOU 締結

- (1)『코리아研究』第 7 号の発行、配布:特集「治安維持法制定から 90 年、植民地朝鮮・戦前日本から現代を問う」、投稿論文 4、研究ノート 1、寄稿 1、新刊紹介 6、活動報告等
- (2) ホームページによる情報公開、成果の公開
- (3) ソウル大学校アジア研究所と MOU 締結

### 3. 若手人材育成

- ①第 10 回次世代研究者フォーラム「解放/敗戦後 70 年の朝鮮半島と日本」開催、研究報告 16 本、特別報告 2 本
- ②KF (Korea Foundation) による海外韓国学若手研究者奨学生として 2 名を推薦、受給

## II. 拠点構成員の一覧

本欄には、2016年3月31日時点で各拠点にて所属が確認されている本学教員や若手研究者・非常勤講師・客員研究員等の構成員を全て記載してください。

※若手研究者とは、立命館大学に在籍する以下の職位の者と定義します。

- ①専門研究員・研究員、②補助研究員・RA、③学振特別研究員(PD・RPD)、④博士後期課程院生・一貫制博士課程3回生以上に在籍する院生

役割	氏名	所属	職位	
センター長	勝村 誠	政策科学部	教授	
運営委員	倉田 玲	法学部	教授	
	山下 高行	産業社会学部	教授	
	権 学俊	産業社会学部	教授	
	秋葉 武	産業社会学部	教授	
	金山 勉	産業社会学部	教授	
	文 京洙	国際関係学部	教授	
	中戸 祐夫	国際関係学部	教授	
	桂島 宣弘	文学部	教授	
	佐々 充昭	文学部	教授	
	庵途 由香	文学部	教授	
	宋 基燦	映像学部	准教授	
	金丸 裕一	経済学部	教授	
	高屋 和子	経済学部	教授	
	李 康国	経済学部	教授	
	鄭 雅英	経営学部	教授	
	石川 亮太	経営学部	教授	
	松本 克美	法務研究科	教授	
	総田 芳憲	立命館アジア太平洋大学	教授	
	轟 博志	立命館アジア太平洋大学	教授	
学内教員 (専任教員、研究系教員等)				
学内の若手研究者	専門研究員・研究員	斐 始美	立命館グローバル・イノベーション研究機構	専門研究員
		森 類臣	立命館グローバル・イノベーション研究機構	専門研究員
	補助研究員・リサーチアシスタント			
	学振特別研究員 (PD・RPD)			

	博士後期課程院生・一貫制博士課程 3 回生以上在籍院生			
その他の学内者 (非常勤講師・研究生・研修生等・博士前期課程院生等)	徐 勝	法学部	非常勤講師	
	大久保 史郎	法務研究科	非常勤講師	
	張 惠英	経営学部・経済学部・文学部・産業社会学部	非常勤講師	
	宋 隠營	文学部・産業社会学部	非常勤講師	
客員協力研究員	波佐場 清	大阪経済大学	非常勤講師	
	戸塚 悦朗	Ahn Joon Keun Asian Peace Research Center	Research Fellow	
	李 建濟	大阪大学外国語学部外国語学科	非常勤講師	
	川瀬 俊治	天理大学	非常勤講師	
	竹村 朋子	佛教大学	非常勤講師	
	高 賛侑	園田学園女子大学シニア専修コース	講師	
	金 相奎	高麗大学校韓国史学科	博士課程	
	裴 貴得	日韓文化交流基金	招聘フェロー	
	青柳 純一	コリア文庫	共同代表	
	金 賢泰	フォーラム「真実と正義」	事務局長	
	金 晶珉	韓国言論仲裁委員教育チーム	次長補佐	
	金 政權			
	高 恩美	東亜大学校 人文科学大学大学院 文藝創作学科	博士課程	
	金 寶香	済州大学校	特別研究員	
	梁 仁實	岩手大学人文社会科学部	准教授	
	林 徳栄	大阪市立大学都市研究プラザ	特別研究員	
	崔 美淑	祥明大学校師範大学国語教育科	教授	
趙 顯一	圓光大學校師範大学国語教育科	副教授		
權 明娥	東亜大学校国語国文学科	教授		
その他の学外者 (他大学教員・若手研究者等)				

### Ⅲ. 研究業績

本欄には、「Ⅱ. 拠点構成員の一覧」に記載した研究者の研究業績のうち、拠点に関わる研究業績を全て記載してください。(2016年3月31日時点)

1. 著書							
No.	氏名	著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行年月	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	その他編者・著者名	担当頁数
1	文京洙	在日朝鮮人 歴史と現在		2015年	岩波新書	水野 直樹	PP. 88~99
2	庵途由香	帝国支配の最前線: 植民地		2015年	吉川弘文館	坂本 悠一編	

		(地域のなかの軍隊 7)					
3	石川亮太	近代アジア市場と朝鮮		2016年	名古屋大学出版会		
4	文京洙	新・韓国現代史		2015年	岩波書店		
5	文京洙	在日朝鮮人からみる日韓関係——〈国民〉を超えて		2015年	日韓関係史 1965-2015』, 東京大学出版会		61-84
6	李康國	Economic Essays for 99%		2015年	Chaeksang publisher		1-456
7	森類臣	韓国における代案言論メディア創出のダイナミズム 『メディアと文化の日韓関係: 相互理解の深化のために』		2016年	新曜社		
8	庵途由香	アジア太平洋戦争辞典	項目執筆, 吉田裕ほか編	2015年	吉川弘文館 (2015)		
9	大久保史郎	日本の最高裁判所	共著	2015年	日本評論社	市川正人・齋藤浩・渡辺千原編著	245-264
11	裴始美	留学生の早稲田	共著	2015年	早稲田大学出版部	劉傑、李成市編	209-259

2. 論文								
No.	氏名	著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行年月	発行所、発表雑誌、巻・号数	その他編者・著者名	担当頁数	査読有無
1	中戸祐夫	Japan-South Korea Relations in 2014: A Japanese View,		2015年5月	Eurasia Cultura, 1,		61-82	無
2	金丸裕一	我曾邂逅過的近代史研究所档案館		2015年	中央研究院近代史研究所編『近史所一甲子 - 同仁憶往録』下冊		230 - 232	無
3	金丸裕一	戦時日本専門家視野下的中国電力産業		2015年7月	社会群体視覚下的抗日戦争與中国社会國際學術研討會論文集		140-153	無
4	石川亮太	화교 화인의 시점에서 본 아시아 속 조선 개항 (華僑・華人の視点から見たアジアの中の朝鮮開港)		2016年	『歴史批評』		114, 82 - 112	有
5	石川亮太	개항기 부산의 일본인 상인과 부산수산회사 (開港期釜山の日本人商人と釜山水産会社)		2015年	『民族文化研究』69		417-463	有
6	石川亮太	一八八〇年代の紅蔘対清輸出と華商一裕増祥事件を通じて		2015年	『朝鮮史研究会論文集』53		83-113	有
7	金丸裕一	戦時日本技術者的「楽観論」-以中国電力産業調査為例		2016年	『立命館経済学』64 : 6		149-169	無
8	金丸裕一	談近代東亞的領土概念		2016年	『立命館経済学』64 : 4		88 - 92	無
9	金丸裕一	我曾邂逅過的近代史研究所档案館		2015年	『近史所一甲子 - 同仁憶往録』下冊		230 - 232	有
10	高屋和子	中国における「国進民退」の議論と「国家資本主義」『グローバルリズムと国家資本主義』御茶ノ水書房を契機に	坂田幹男著	2016年	『立命館経済学』64 : 6		1038-1053	無

11	山下高行	権力、政治とオリンピック ピック―2010年バン クーバー大会および その他の事例から	ピーター ・ドネリ ー著, 山 下高行, 熊澤拓也 (共訳)	2015年	『スポーツ社会学研究』23:2		3-22	有
12	李康國	「新刊紹介 経済」		2016年	『코리아研究』7		109-110	無
13	森類臣	「新刊紹介 文化」		2016年	『코리아研究』7		128-129	無

3. 研究発表等					
No.	氏名	発表題名	発表年月	発表会議名、開催場所	その他発表者名
1	森類臣	모란봉악단의 특징과 그 사회적 의미에 관한 고찰 (モランボン楽団の特徴と その社会的意味に関する考 察)	2015年8月	International Society for Korean Studies, The 12th ISKS International Conference of Korean Studies, Vienna, University of Vienna	
2	李康國	Fundamental Causes of Economic Growth: East Asian Perspective	2015年11月	The 10th International Conference on Regional Innovation and Cooperation in Asia (RICA)	
3	森類臣	모란봉악단, 그 존재는 무엇을 의미하는가?	2015年10月	The 2st World Conference on North Korean Studies, Panel 9 :Art of North Korea Between Ideology and Art, Soongsil University	
4	森類臣・ベ ヨンミ	일본의 보도를 통해 본 4・3 사건」 제 7 회 제주대학 제일제주인센터 국제학술대회「해방 70 년에 즈음한 제일코리아인 문제	2015年12月	제주대학교 제일제주인센터 , 제주대학교	
5	桂島宣弘	近世帝国と琉球王朝の思想 圈	2016年2月	高麗大学校民族文化研究院定例研究会	
6	桂島宣弘	日韓關係の現状をどう考え るか (基調講演)	2015年11月	大韓日語日文学会秋季大会	
7	権学俊	近現代日本社会における対 韓国認識	2015年11月	韓国研究財団研究会	
8	勝村誠	現代日本における‘近代’ 治安維持法	2015年10月	治安維持法制定 90 年国際シンポジ ウム「治安維持法制定から 90 年, 植民地 朝鮮・戦前日本から現代を問う」	
9	勝村誠	東アジア歴史認識問題の焦 点としての安重根-ハルピ ン安重根義士記念館をめぐ る日本政治の対応を手がかりに-	2015年11月	国際学術会議「安重根『東洋平和論』と 日韓歴史認識の国境越え」	
10	中戸祐夫	安倍政権下における日本の 対北朝鮮政策 - 対応的関与 (responsive engagement) の観点から -	2015年12月	立命館大学コリア研究センター&東国 大学北韓研究所&吉林大学東北アジア 研究院共催シンポジウム「東アジアの 中の北朝鮮」	
11	中戸祐夫	朝鮮半島の統一と日本	2015年12月	立命館大学コリア研究センター設立 10 周年記念国際シンポジウム「東アジア と朝鮮半島の平和実現に向けて」	
12	高屋和子	中国の国進民退-日本にお ける研究動向(仮) (日中両 語報告)	2016年3月	日中学術交流検討会	
13	高屋和子	中国の食糧安全保障と食糧 企業 グローバル産業チェ ーン展開: 中糧集团有限公司	2016年1月	社会システム研究所国際学術交流研究 会・経済学会経済セミナー「東アジアの 土地・住宅と農業・農村問題」	
14	森類臣	『音楽政治』における継承 と革新-モランボン楽団を めぐる社会学的考察-	2015年11月	神田外語大学, 現代韓国朝鮮学会第 16 回研究大会	
15	森類臣	スピードの追求, 情報の縮 地法-韓国ニューメディア	2015年11月	獨協大学	

		の相互フィードバックと加速化」, シンポジウム「ソウルを読み解くーメディア文化・記憶・空間			
16	森類臣・秋葉武	韓国の社会的経済と協同組合	2016年3月	日本NPO学会第18回年次大会	
17	岡崎滋樹	近代日本の植民地認識ー台湾から見た朝鮮ー	2015年10月	第75回 RiCKs 月例研究会	
18	桂島宣弘	現代日本の歴史認識ー「高校日本史教科書」の近代史叙述の旋律を中心に	2015年12月	立命館大学コリア研究センター設立10周年記念国際シンポジウム	
19	権学俊	戦後国民体育大会の歴史敵変遷と政治性	2016年1月	京都自由大学研究会	
20	秋葉武	管理会計に基づくNPOの経営基盤強化ー委託事業から自主事業へー	2016年3月	日本NPO学会第18回年次大会	
21	秋葉武・森類臣	韓国の社会的経済と協同組合	2016年3月	日本NPO学会第18回年次大会	
22	秋葉武	トラック共済における組合員参加	2016年3月	共済理論研究会	
23	佐々充昭	近代 日本 의 大아시야主義 와 大同思想ー『満洲国』の王道主義를 中心으로 (韓国語)	2015年10月	『韓中日国際学術大会：グローバル時代韓国的価値と文明研究ー東アジア大同思想と平和共同体』(圓光大学宗教問題研究所主催, 韓国学中央研究院後援)	

4. 主催したシンポジウム・研究会等					
No.	発表会議名	開催場所	発表年月	来場者数	共催機関名
1	立命館大学コリア研究センター第71回月例研究会	学而館第3研究会室	2015年4月	30名	
2	立命館大学コリア研究センター第72回月例研究会	学而館第3研究会室	2015年5月	30名	
3	立命館大学コリア研究センター第73回月例研究会	学而館第2研究会室	2015年6月	30名	
4	立命館大学国際地域研究所 北朝鮮問題研究会特別研究会	学而館第3研究会室	2015年7月	30名	立命館大学コリア研究センター
5	2015年第10回 次世代研究者フォーラム「解放/敗戦後70年の朝鮮半島と日本」の実施	創思館401、402	2015年8月	50名	
6	2015 統一人文学世界フォーラム学術会議「伝統文化に対する現代的照明と民族の和合」	中国・延辺大学	2015年9月	30名	立命館大学コリア研究センター、建国大学統一人文学研究団、朝鮮大学朝鮮問題研究センター、延辺大学民族文化研究所
7	ワンコリア・フェスティバル関連事業「解放70周年記念シンポジウム」	大阪いばらきキャンパス AS251 教室(A棟 南ウイング2階)	2015年10月	100名	公益財団法人ワンコリアフェスティバル, 立命館大学コリア研究センター, 抗路舎
8	治安維持法制定90年国際シンポジウム「治安維持法制定から90年, 植民地朝鮮・戦前日本から現代を問う」	衣笠キャンパス創思館カンファレンスルーム	2015年10月	100名	共催: 立命館大学コリア研究センター, 独立記念館韓国独立運動史研究所
9	第75回 RiCKs 月例研究会「近代日本の植民地認識ー台湾から見た朝鮮ー」	衣笠キャンパス学而館第2研究会室	2015年10月	30名	
10	国際学術会議「安重根『東洋平和論』と日韓歴史認識の国境越え」	龍谷大学響都ホール校友会館	2015年11月	100名	主催: 龍谷大学社会学研究所附属安重根東洋平和研究センター, 安重根義士記念館(韓国・ソウル)
11	講演会「人権と平和のためにーノグンリ虐殺の真相を究明する活動ー」	国際平和ミュージアム会議室(アカメディア立命212階)	2015年11月	30名	主催: 立命館大学国際平和ミュージアム, 立命館大学コリア研究センター
12	戦後70年「エイジアン・ブルー」浮島丸サコン特別上映会・立命館大学「不戦の集い」関連企画	朱雀キャンパス大講義室	2015年12月	100名	主催: 戦後70年映画「エイジアン・ブルー浮島丸サコン」を見る会(シネマソラ内) 共催: 立命館コリア研究センター, 立命館国際

					平和ミュージアム 協力：立命館「不戦の集い」実行委員会, NPO 丹波マンガン記念館
13	立命館大学コリア研究センター設立10周年記念国際シンポジウム「東アジアと朝鮮半島の平和実現に向けて」	朱雀キャンパス大講義室	2015年12月	100名	
14	立命館大学コリア研究センター&東国大学北韓研究所&吉林大学東北アジア研究院 共催シンポジウム「東アジアの中の北朝鮮」	衣笠キャンパス以学館1号教室	2015年12月	60名	主催：立命館大学コリア研究センター，東国大学北韓研究所，吉林大学東北アジア研究院
15	立命館大学コリア研究センター&ハンギョレ経済社会研究院 共同研究会「韓国型社会的経済政策モデルの開発」	衣笠キャンパス学而館第2研究会室	2016年3月	30名	主催：立命館大学コリア研究センター，ハンギョレ経済社会研究院 助成：立命館大学産業社会学会，立命館大学研究推進プロジェクト

5. その他研究活動（報道発表や講演会等）				
No.	氏名	研究業績名	発表場所等	研究期間
1	森類臣	新たな米中関係下の日韓関係の在り方について考える	大阪市立大学文化交流センター 国際高麗学会日本支部創立25周年記念国際シンポジウム	2015年6月
2	石川亮太	書評「須永武徳編著『植民地台湾の経済基盤と産業』（日本経済評論社，2015年）」	『立教経済学研究』69：5，267-272	2016年
3	金丸裕一	書評「『境界史の構想』（『日本歴史私の最新講義』12）村井章介著（敬文社，2014年10月刊）」	『立命館大学国際平和ミュージアムだより』23：2	2015年
4	松本克美	「過去の克服」と将来展望	2015年12月、立命館大学コリア研究センター 設立10周年記念国際シンポジウム	2015年12月

6. 受賞学術賞					
No.	氏名	授与機関名	受賞名	タイトル	受賞年月
該当無し					

7. 科学研究費助成事業						
No.	氏名	研究課題	研究種目	開始年月	終了年月	役割
1	庵途由香	植民地朝鮮社会における朝鮮駐屯日本軍の実態と役割に関する基礎的研究	基盤研究（C）	2015年4月	2017年3月	代表
2	森類臣	北朝鮮の音楽政策に関する研究	若手研究（B）	2015年4月	2018年3月	代表
3	桂島宣弘	東アジア翻訳語ネットワークとナショナルヒストリーの形成に関する思想史的研究	基盤研究（C）	2014年4月	2016年3月	代表
4	宋基燦	朝鮮学校卒業生の世界に関する民族誌的研究	基盤研究（C）	2014年4月	2016年3月	代表
5	文京洙	韓国の地域社会における市民事業の展開とローカル・ガバナンスに関する研究	基盤研究（C）	2013年4月	2016年3月	代表
6	佐々充昭	中国東北部における韓国系独立運動関連史跡の観光地化に関する研究	基盤研究（C）	2013年4月	2016年3月	代表
7	石川亮太	朝鮮開港後における華商の貿易決済—東アジア地域史の視点から	若手研究（B）	2013年4月	2016年3月	代表
8	松本 克美	児童期の性的虐待被害者のレジリエンスを支援する時効法改革の提言	新学術領域	2014年4月	2016年3月	代表
9	轟博志	朝鮮における古代道路の歴史地理学的復	基盤研究（C）	2013年4月	2016年3月	代表

		原に関する基礎的研究				
10	表始美	「大正～昭和戦前期、東京における東アジアの思想交流」	若手研究（B）	2014年4月	2017年3月	代表

8. 競争的資金等(科研費を除く)						
No.	氏名	研究課題	資金制度・研究費名	採択年月	終了年月	役割
1	勝村誠	国際社会における紛争解決と葛藤解消に向けた学際統合型平和研究	私立大学戦略的基盤形成支援事業	2014	2016	グループリーダー
2	勝村誠	オール立命館による抱く際統合型平和研究拠点	立命館グローバル・イノベーション研究機構拠点形成型 R-GIRO 研究プログラム	2013	2016	グループリーダー

9. 知的財産権								
No.	氏名	名称	出願人区分	発明人区分	出願番号	公開番号	登録（特許）番号	国
該当無し								